



立命館大学キャリアセンター部長
石原一彦先生

大学生活の充実が 進路開拓につながる

大学には、その後の職業や人生設計につながるよう自分と社会との接点を見出す機会が用意されています。また一方で、それらを主体的に活用できない学生たちが多々いることも、事実です。

近年の大学生の就職戦線から見える人材像や大学生活の意味などを立命館大学の石原一彦先生にお聞きました。

今年の就職戦線を振り返って

Q1 今年の就職戦線は、会社説明会や面接解禁日などの日程が繰り下げられるなどの変更があった年になりましたが、どのように見られていますか？

今年は、非常に特殊な年で、これは来年度見直されるかもしれないという状況があります。そもそも就職活動の後ろ倒し化には、大学生活の充実をはかる目的があったんですが、それが果たせていないということです。就職活動が長期化し、学業に真剣に打ち込める期間がなくなって減ってしまいました。3月から、企業はいろんな裏技を使って、実質的な選考をかなり進めていたのが現実です。結果として、今まで4～5月がヤマ場であったのが、今年は8月まで続いてしまいました。

例年だと5月の連休明けには内定をもらってキャンパスに戻ってきた学生が、今年は全然戻ってこないという状況がありました。いつも以上に学業が圧迫される、これは実験などに時間を要する理系の学生にとっては、深刻でした。

ですから、8月に大手が内定を出し切るまで、学生が自分の本意の企業を決められない、学生の学業を優先する目的が必ずしもそうならなかったという実態が、今年の就職活動のポイントの1つです。

また、企業の採用活動はまず大手が先行し、そのあと中小が行うという流れが逆転したことは、企業側にも混乱を生じさせていました。中小では内定をもらたけれども、本命大手にいけないかどうかわからない学生は、すごく悩むという実態があつて、そこから出てきたのが「オワハコ」という言葉ですね。「就職活動を終わらないハラスメント」ということで、企業の困り込みは非常に酷いものがあつて、それは今まででもあったものではあります。今年はそれが顕著化し、企業側の就活モデル自体も混乱していたというのがもう1つのポイントです。

ですから、今年は、だれも得をしていない就活スケジュールだと言えます。今年の学生は非常にかわいそうです、企業側も苦労されていますし、本当によくないスケジュールだったと振り返って思います。

また、選考を進めておいて8月1日に内定という企業は大手にもあり、一方でまじめに8月1日から面接を始める企業もありました。学生はそれが当初からわからなかったものだから、どの段階で動いた方がいいのか、かなりアンテナを張っていないと、遅れていくというパターンがありました。そういう意味では、

しっかりしているんだけどぼーっとしているタイプの学生はすくなく損していると思います。

社会・企業が望む人材とは

Q2 日本の社会または企業が望む人材とはどのようなものだと思いますか？

昨今では「主体性」や「答えのない中で答えを見つけていく力」を重視する傾向があり、単に与えられたものをこなすタイプではない人材が求められています。その典型的なタイプが、「グローバル人材」です。この「グローバル人材」とは教育者の側からすると英語をしっかりと教える込んで、というふうなイメージがありますが、必ずしもそうではありません。これからの社会ではどこか放り込まれたときに、何とかして力を求められていて、そういう意味では「根性」とか「経験値」ともいえます。いかに「根性」をもて最後まであきらめずにやるか。どういふところに糸口を見つけて、そこから何とか入っていくか。もちろん語学力があるというのとは1つの武器であつて、それは軽視できる話ではありませんが、「最悪の場合、通訳をつければいい」と企業は考えています。英語くらいは、大学を卒業したらしゃべってほしいとは思っているでしょうが、たとえば第2外国語の力量はそれほど問われてはいない。むしろ「主体性」とか「根性」というものを問われているように思います。

就職活動では、今年に限らず、昨今の状況として「コミュニケーション能力」とその「主体性」が問われてくるので、学生の側としては、そうした状況を踏まえて自己アピールすることが大事だと思います。受け身ではない学生が求められているということですね。

これから大学生になろうとする高校生たちへ

Q3 これから大学生になろうとする高校生たちへ、先生からアドバイスをしていただけますでしょうか？

大学の学部選択に際して、特に理系などは、学科に入ればある程度進路が見えてくるようなところもありますし、また文系では幅広くさまざまな方面に進むこともあり得るので、大学・学部を決める時に既に卒業後の進路選択が問われているといえます。

最近では、理系でも融合型といういろんな方面に進んでいけるようになってきていますので、必ずしも、理

系に決めたらその先理系へ一直線というわけでもありませんが、まずは文系・理系の選択が、将来の進路を選ぶ最初のステップになります。

自分の将来に関する具体的なビジョンが、あればあるでいいですし、なくても、常にそれをイメージすることが大事だと思うんです。別に決まなくてもいいし、変えてもいいと思いますが、むしろそれを考える力を育てておく方が重要です。自分が職業や進路を選択することになったときに、自分はどうなるんだろうと想像する、イメージ力を鍛えることが大事だということです。

高校までの学習もそうだと思うんですけど、大学の学習は、社会との接点を学術の中に取り込んできているので、大学生活をいかに充実させるかということが、自分の進路開拓につながります。自分分はどんな進路に合っているのかとか、どんな進路があるのかといったことを知ることはできるし、充実した大学生活を送ることがそれを現実させる、ひいては内定を得られるということにもつながります。成長できる学生を企業は欲しがるということです。自分を成長させるような環境に、いかに身を置くかということが大事なことで、そこで成長することが、実は自分の希望する進路実現に直結するということだと思います。

大学受験は、ある意味で就職活動と同じだと思います。自分は何をしたいんだろう、「何が得意なんだろう」、「その大学は自分に合うんだろうか」と自分を見つめる「自己分析」と、就活の場合「企業分析」にあたりますが、「大学は何を教えるくれるだろう」、「どんな特徴があるだろう」という「大学分析」があつて、あとはマッチングにあたる「試験」です。だから、大学に入ってから何をするのか、それは別にクラブでも何でもいんですが、やりたいことを明確化しておくことが大事です。

PROFILE

プロフィール

石原 一彦

1958年生まれ。1990年京都大学大学院工学研究科建築専攻博士後期課程を単位取得退学、(株)市浦都市開発建築コンサルタンツ(現(株)市浦ハウジング&プランニング)に勤務し、2004年立命館大学政策科学部教授に着任。2011年4月キャリアセンター副部長就任を経て、2014年より同部長を務めている。

たけ卒業生

阪初芝学園の卒業生たちを紹介します。

初芝立命館高校

大学でたくさん
素敵な経験を！

浅野 晴紀くん

在学

立命館大学 産業社会学部
現代社会学科メディア社会専攻
就職予定先 映像制作会社

★大学在学中に打ち込んだことは？

「立命館大学放送局」に所属し、学園祭のステージ運営・ネット番組制作・地域行事への協力など、様々な放送番組制作活動に、日々力を入れて打ち込みました。志望職種に関する知識はもちろんのこと、部活で培われたコミュニケーション力が、就職活動での自信につながりました。

★先輩たちへのメッセージ

大学生活は、なんとなく過ごしてしまうともったいないですよ。皆さんも大学で素敵な経験ができるよう願っています。



目標はテクニカルディレクターになることと語る浅野くん。(写真は大学での活動の様子。)高校での一番の思い出は「韓国ホームステイ」。

会社で必要不可欠な
存在になりたい

辰巳 智里さん

在学

立命館大学 スポーツ健康科学部
スポーツ健康科学科
就職予定先 日清医療食品株式会社

★大学在学中に打ち込んだことは？

体育会アメリカンフットボール部に入学し、現在アナライザーを務めています。ここで、選手と共に日本一になることを目指して頑張ってきました。

★就職活動で役立ったことは？

3回生の時に病院のインターンシップに参加したことが、この会社を志望する理由の一つになりました。また部活の中で真摯に取り組んだ経験がとても役立ったと感じています。

★先輩たちへのメッセージ

大学は、自分の好きな勉強や経験ができるとても楽しいところです。みなさんもこれから大学生活をめいっぱい楽しんでください。



立命館アメフトチーム「バンサーズ」のアナライザーとして働く辰巳さん。在学中に健康運動指導士の資格を取得。

楽しいこと辛いこと 全部が思い出

炭谷 遥花さん

在学

立命館大学 情報理工学部
情報コミュニケーション学科
進学予定先 立命館大学大学院
情報理工学研究科 情報理工学専攻

★大学在学中に打ち込んだことは？

高校の時から取り組んでみたかったボランティア活動に参加しました。ボランティア活動を通じて、学生スタッフなど他大学の学生とも友人になりました。

★大学院での目標は？

まずは、自分に合った職業を見つけること。もつは、英語力をつけることです。学部の中で必要なことも多く、研究室に外国人もいます。日常会話のレベルを目標に頑張ります。

★先輩たちへのメッセージ

楽しかったこと、辛かったこと、高校時代の全部が今では思い出です。提携校の行事で、高校時代の先生方と会うと、高校の時に戻った感じがします。大学ではすべてが自己管理です。目標を立てて高校生活を過ごすことが、大学生活で必ず役立ちます。



大学在学中は災害復興などボランティア活動にも参加していた炭谷さん。写真は子どもキャンプの様子(左から2番目が本人)

文武両道を大学でも実践

森本 涼くん

在学

甲南大学 経済学部経済学科
就職予定先 因幡電機産業株式会社

★将来の目標は？

入社予定の会社は、東京オリンピック開催にも貢献する企業です。仕事を通じてこの大きなイベントに、関わることが、今の目標です。

★大学在学中に打ち込んだことは？

「自分に厳しく」をモットーに、勉学と週6日の部活動(硬式野球部)を両立させてきました。就職活動では、高校・大学と、野球を通じて培ってきた挨拶・礼儀が役立ったように思います。大学OBや先輩のアドバイスのおかげでスムーズに進めました。

★先輩たちへのメッセージ

高校・大学を通じて、学生生活は野球に没頭した日々でした。そのおかげで今の自分があると思っています。みなさんも何か一つ真剣に打ち込めることを探してください。



大学野球部では、主将をつとめた森本くん。阪神大学野球ベストナイン賞を受賞。高校時代の思い出は、阪神の藤波投手(当時、大阪桐蔭)と戦ったこと、と語る。

未来へはばた

大学生活を充実させ、進路を切り拓いた大

初芝富田林高校

患者さんを笑顔にできる
看護師を目指して

出口 裕花さん

在学

広島大学 医学部保健学科
看護学専攻

就職予定先 大阪鉄道病院

★大学在学中に打ち込んだことは？

現在大学で、がん看護についての卒業研究に取り組んでいます。骨密度測定のパラメータ活動では、ピンクリボンなどの団体・広島市・病院関係者など、社会人といっしょに活動し、視野を広げることができました。

★先輩たちへのメッセージ

どんな知識でも体験でも必ずどこかで役に立って、自信につながるものです。勉強も部活も遊びも、学校生活のすべてに一生懸命取り組んで、そして楽しんでください。



中高時代のコーラス部から心機一転、大学では弓道に打ち込んだという出口さん。昇段試験に合格したことが大学生生活の集大成になったと語る。

すべてが将来につながっている

西尾 大地くん

在学

京都大学 工学部電気電子工学科
進学予定先
京都大学大学院
工学研究科電子工学専攻

★大学で何の研究をしていますか？

大学4年生からは生存圏研究所に配属されてマイクロ波の研究をしています。この研究が進めば、将来宇宙空間で太陽光発電した電力を地上へ送ることが可能になります。

★将来の目標は？

今は他の分野にもとても興味があるので、何の研究に携わることになるのか、今後のことはまだ決まっていますが、研究者を目指しています。今は研究の方法やあり方を学んでいるところでしょうか。

★先輩たちへのメッセージ

自分がいつどこで何に興味を持つかなんてわかりません。どんなことでも将来につながるものですから、何事も一生懸命頑張れば、きっとあなたの力になってくれます。



手芸サークルにのめりこむという一面もある西尾くん。高校の青森ファームステイで出会った方々と、今でも親交があるとのこと。

メガバンクで大きな仕事を
成し遂げたい

岡田 諒くん

在学

大阪市立大学 経済学部経済学科
就職予定先 三井住友銀行

★大学在学中に打ち込んだことは？

硬式野球部に所属しています。在学中はひたすら野球にうちこんできました。現在秋季リーグもまだ中。全国大会を目指して頑張っています。

★将来の目標は？

大きな仕事を成し遂げて、周りをあとと言わせたことです。この仕事は思っていたよりも広がりがあり、いろいろな経験ができそうです。将来的には企業融資の仕事に携わり、社会的に貢献したいと考えています。

★先輩たちへのメッセージ

学生時代に打ち込んだことは大きな財産となっています。今打ち込んでいることに注力してそれぞれの財産を作ってください。



高校在学中は軟式野球部で2度の全国大会に出場した岡田くん。初志貫徹、大学でも現役で活躍している。

初芝橋本高校

海外旅行を通じて、
人に感動を与えたい

竹下 僚くん

在学

立命館大学 文学部英米文学専攻
就職予定先 株式会社エイチアイエス

★将来の目標は？

大学の先輩や実際に働く方々など、就職活動中に出会った様々な人たちの話は、想像していたものと現実とのギャップを埋める、よい機会になりました。入社後は、海外旅行を通じて、お客様に感動を与えられる人になりたいです。

★先輩たちへのメッセージ

自分の可能性を自分自身で絞らないことが大切です。その中でまた違った道が見えてくることもあるものです。また何事においても息抜きも必要。同じ境遇の仲間たちと励まし合いながら、歩んで行ってください。



就活では、仲間と励まし合いながら頑張ってきたという竹下くん。(右から2番目)信頼できる仲間たちや活動を通じて知り合った社会人の方との出会いが、自分を大きく成長させたと言います。

はつしば学園幼稚園

リトミック

年少組では一年を通して専門講師によるリトミック活動を行っています。「リトミック」とは、音楽を使って身体を動かしながら自立心や音感、生活習慣等を養っていくのです。講師のピアノの音を聞き分け、「歩く・走る・止まる」といった即時反応をしたり、リズムに合わせて動物に変身する等の身体表現をしたりと音楽と子ども達の笑い声に包まれて毎回楽しく過ごしています。



運動会 ～年長組組体操～

運動会に向けて日々の練習を頑張ってきた子どもたち。その中でも、組体操は和太鼓の音に合わせて、素早く動く姿はとても美しく顔つきも真剣そのものです。

また、歯を食いしばりながらお友達を持ち上げたり支えたり、我慢する強い力が身につきました。それから自然とお友達を思いやる優しい心が持てるようになり、組体操を通して沢山の事を学ぶ事が出来た年長組さん。これからの成長も楽しみです。



はつしば学園小学校

全学年で宿泊行事

4月の6年生修学旅行(九州方面3泊4日、APU英語研修)を始め、7月に入り、5年生が和歌山県白浜での臨海学舎、4年生は奈良県河川で林間学舎を2泊3日で行いました。また、3年生は和歌山県高野山の宿坊体験、さらに1・2年生が大阪府貝塚市で1泊2日の林間学舎をするなど、全学年で宿泊行事を実施。各学年に応じた内容で、それぞれの活動を通して友達との交流を深め、思いやりの心と協調性を育てます。

ICT教育の推進

昨年度全館の無線LAN環境を整備、普通教室に電子黒板機能付きプロジェクターやパソコン等を設置、昨年3・4年生に1人1台のタブレット端末を導入しました。さらに今年度9月以降は、3年生以下の児童にタブレット端末を導入、「いつでも、どこでも、だれでも」を合い言葉にICT機器を活用し、授業の深化、効率化を目指しICT教育を積極的に推進しています。



真の国際人を目指して、国際教育の展開

世界で活躍できるグローバルな人材の育成を目指し、3年生以上の総合的な学習の時間で国際教育を展開しています。初芝立命館高等学校の3名の留学生(フランス・ポルトガル・オーストラリア)を招いて定期的な交流を実施、出身国の文化を学び日本の文化を伝えるなどの交流をしています。また、6年生では4月の修学旅行でお世話になったAPU(立命館アジア太平洋大学)の留学生と、スカイプを使って再会しました。



初芝スイミングスクール

《6月1ヶ月体験》《夏休み短期教室》など大好評につきより一層、活気あるスイミングになっています。また、《秋の遠足》、《クリスマス会》等の人気イベントも控えており、笑顔あふれるスイミングとなっております。

選手コースでは、日本選手権、全国中学校、インターハイ、日本学生選手権、全国JOCジュニアオリンピックカップにおいて、優勝を多数含む入賞があり、国民体育大会にも本スクールより小林奈央、尾崎友樹、秦隆太郎の3選手が、小林スクール長が監督にそれぞれ大阪代表として選出されています。

いよいよ来年度に迫ったリオデジャネイロ・オリンピック、小林奈央選手は来年度4月のオリンピック選考会に向けて最後の追い込みにはいっています。日本学生選手権では、2冠し日本ランキング2位のタイムで泳ぎ、オリンピック派遣標準記録も射程圏内としています。また、秦隆太郎選手が中学生ながらも2020年東京オリンピック候補選手として選出されており、日本のナショナルチームとして毎月合宿に励んでおります。

リオデジャネイロ、東京と2大会連続でのオリンピック選手輩出に向け日々精進しておりますので、ご声援よろしくお願い致します。



平成28年度 大阪初芝学園 入試スケジュール

	高等学校			中学校			小学校
	初芝立命館高等学校	初芝富田林高等学校	初芝橋本高等学校	初芝立命館中学校	初芝富田林中学校	初芝橋本中学校	はつしば学園小学校
入試説明会 個別相談会 個別見学会	【入試対策講座】 平成27年 12月6日(日) 10:00/14:00	平成27年 12月5日(土) 14:00(入試説明会) 平成27年 12月12日(土) 9:00~17:00 ※要申込 (個別見学会)	平成27年 12月6日(日) 14:00 (第2回入試説明会)	平成27年 11月21日(土) 10:00 (プレテスト個別相談会) 平成27年 12月12日(土) 14:00(入試個別相談会)	平成27年 11月21日(土) 9:00~17:00 ※要申込 (個別見学会)	平成27年 12月6日(日) 14:00 (入試説明会)	平成28年 3月20日(日) (平成29年度 第1回入試説明会)
入 試 日	平成28年 2月10日(水)	平成28年 2月10日(水)	【A日程】 平成28年 1月30日(土)	【A日程】平成28年 1月16日(土) 午前 ※一般入試・きらめき入試	【1次A】 平成28年 1月16日(土) 午前	【A1日程】 平成28年 1月16日(土) 午前	平成28年 1月30日(土) ※転入のみ 以降随時
			【B日程】 平成28年 2月13日(土)	【B日程】平成28年 1月16日(土) 午後 ◆大阪市内会場設定あり	【1次B】 平成28年 1月16日(土) 午後	【A2日程】 平成28年 1月17日(日) 午前	
				【C日程】 平成28年 1月17日(日) 午前	【2次】 平成28年 1月17日(日) 午前	【B日程】 平成28年 1月18日(月) 午前	【3次】 平成28年 2月3日(水)
				【D日程】平成28年 1月30日(土) 午前 ※きらめき入試	【選抜】平成28年 1月18日(月) 午後 ※Ⅲ・Ⅱ類のみ募集		

Editor's Note

第10号特集「未来へはばたけ卒業生」はいかがでしたか。卒業生たちの今後の活躍を期待しています。また、今回の掲載以外に、「大きな壁に当たっても、最終的にその道は自分で選んだものである、と胸を張って言えるような経験をしてください」とのメッセージもいただきました。在校生のみなさんには先輩たちの言葉を胸に刻み、たくましく成長し続けてほしいと願っております。